

近組 2022-011 号

2022 年 3 月 1 日

学校法人 近畿大学  
理事長 世耕 弘成 殿

近畿大学教職員組合  
執行委員長 光永 靖

### 団体交渉要求書

近畿大学教職員組合は、学校法人近畿大学に対し、教員の研究時間の確保および研究活動を効率的に行う環境を整備するための一環として、工事業者の選定について以下のように要求する。

現在、理工学部では情報学部新設に伴い教員の部屋の移動や工事が進められている。その中でも 31 号館の工事の質は極めて低く、工事時に発生した粉塵が各部屋に舞いこみ、計算機や実験装置に影響が出ている。また工事業者は分電盤の結線を十分確認することなく on/off を行うため、教員の業務中にも電源を突如切られる事例が多発しており、そのことを指摘・注意した翌日にも同様のことが再発するという体たらくである。粉塵については数年前の工事でも問題となり、その対策のため当時ドアの交換まで行ったという経緯があるが、今回の工事にその反省は活かされていない。

2022 年 2 月 8 日に管理部から回覧がなされている「物件調達に伴う手続きについて」では、① 物件調達に限らず業者とは公正な取引を行うこと、② 取引は常に競争原理を働かせて適正な価格を実現すること、③ 見積合せや相見積もりは業者に丸投げせず適切に行うこと、④ 大学にふさわしい業者として貢献度（就職、寄附など）を可視化して働きかけること、とあるものの、「大学の業務について十分な理解をした上でその業務を十分に遂行できること」という記載は含まれていない。今後の再発を防止するために、下記の 3 点を要求する。

1. なぜこのような事態になったのかの徹底的な要因分析を行うとともに、業者選定基準を見直すこと。
2. 場当たりの対応ではなく、再発防止策を選定し今後同じ事態を引き起こさないこと。
3. 上記 2 点を教員に周知し、教員に協力と理解を求めること。

管理部施設管理課・用度課、および全理事の出席を求める。回答は一週間以内とする。

以上